

座間市 雨水出水浸水想定区域図

1. 説明文
- ①この図は、近年の大雨であった平成25年4月6日の気象庁海老名観測所における観測雨量の約1.5倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水深が0.1m未満の場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されているよりも、浸水深が深くなる可能性がありますので注意して下さい。

②この内水浸水想定区域等は、指定時点の座間市内の下水道の整備状況、貯留・浸透施設等の施設の状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1時間降水量153mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。

④このシミュレーションは、想定し得る最大規模の降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位(堤防高)に設定しています。

⑤水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動して下さい。

2. 基本事項等
- ①作成主体: 座間市

②指定年月日: 令和7年4月1日

③告示番号: 座間市公営企業告示第16号

④指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項

⑤対象となる水位周知下水道: 座間市全域

⑥指定の前提となる降雨: 流域全体に24時間総雨量281mm、ピーク時の1時間に153mmの降雨がある場合

⑦浸水想定手法: 浸水シミュレーション手法[降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施]

⑧境界条件: 相模川、鳩川、目久尻川の水位は想定される最高水位(堤防高)

⑨その他計算条件等: 対象区域を100m2のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

